校友時報

昭和35年12月18日
編集人兼発行所
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所 大勝堂印刷所

停滞続く生徒会

自治意識の低下が原因

本校における近年の自治活動は、ホーム・ルームの弱体化がいちぢるしく、生徒総会、生徒委員会の流会、最高運営機関である企画部の弱体など、毎年停滞状態を続けている。この傾向は、今年前期生徒会で頂点に達し、自治活動は全く行なわれなかった。後期生徒会役員が誕生し三カ月を経た現在においても、自治活動停滞の域を脱しえず、生徒会は有名無実と化している。

欠ける生徒会への関心

生徒会停滞の第一原因は、一般生徒の生徒会への無関心（自治意識の低下）である「……活発な自治活動によって学校生活の向上をはかり……」と生徒会会則第一章第三条でのべられているように学校社会の中で、生徒の利益を生徒自身の力で守り、獲得するための唯一の組織である生徒会に、より多くの関心を持ち、積極的に参加していくのが生徒の自然な姿であろう。しかし本校生徒の絶対多数は生徒会に対して無関心であり無協力である。

では何故生徒の自治意識の低下が起り、生徒会停滞が続くのであろうか。現生徒会役員のK君は次のように語っている。「第一の原因は、今までの生徒会が上部だけで動かされて、執行部と一般生徒とのつながりがなかったことではないだろうか。だから執行部の決定事項を、いざ実際に行なおうとしても一般生徒はついていかない。結局執行部だけの空まわりで終ってしまう」また二年生のF君は次のように語っている「現在の社会の機構、性格から必然的にうまれてくる高校の予備校化という問題が解決されないかぎり、一部の人たちがいくらがんばってもどうにもならないだろう。受験地獄という怪物が産み出した副産物じゃないのですか」

生徒会停滞の主原因はK・F両君に代表されるように〃一般生徒の自治意識の低下〃であり、〃受験地獄から生ずる高校の予備校化〃である。また教師が生徒会運営の活発化に対して無理解であるのも見のがせない原因である。

不可解な現在のH・R運営

生徒会組織の細胞機関であるホーム・ルーム運営の退廃が、執行部と一般生徒とのつながりをたち切り、近年にみられる生徒会停滞を招いた重大な原因となっている。ではホーム・ルーム運営はなぜうまくいかないのか。このことについて二年生のH君は「各クラスの生徒委員がホーム・ルームの重要性を認識していないことに問題がある」と語っているが、このH君のことばを実証するあきらかな例として、H・R運営の指導者である生徒委員会の相つぐ流会があげられる。また二年のS君は次のように語っている。「教師側の態度が悪い。これははっきりしている。毎週月曜の二時限に設けられている〃ホーム・ルームの時間〃は自習や教師の修身教育的なことあるいは学校からの連絡事項の報告のみを聞くために設けられた時間ではない。教師側はすみやかに生徒の手にホーム・ルームの時間を返すべきだ」

ホーム・ルーム運営を正常な姿（生徒自身の手で行なわれるホーム・ルームに）もどすことが、執行部と一般生徒との間に密接な関係を保たせ、生徒会を全生徒のものとする最善の方法であるが、これは執行部だけの力でできるものではない。S君がのべたように、教師側の協力が当然必要になってくる。最終的には生徒会員である全校生徒が自治活動に対して自主的に働きかけることが要求される。

生徒総会風景、こんなにはめったに集まらない

問題のある教師の態度 自治活動を無理解

〃欠ける生徒会への意識〃でも述べたように、生徒会停滞の原因は教師側の態度にもある。生徒会会則第四条に「本会は、本校教職員を顧問とする」と記されているように、教師側には顧問として生徒会活発化への援助を与える義務があるはずだが、遺憾ながら停滞している近年の生徒会援助の手をさしのべた教師は絶無である。（もちろん生徒会役員が教師の援助を期待していてはだめだ）しかし、このような結果から「本校には、生徒会に協力しようとする教師はいない」と断定することはできない。ここで生徒会に対する教師側の態度に目を向けてみよう。

生徒会に対する考え方は教師によってそれぞれ異なるが、次の二つの意見に大別される。学生の本分は学問をすることにあり、学校は学問をするための場所だ。生徒会などは不必要、自治活動などもってのほかだ」であり、他のひとつは「生徒の自主的精神をたかめていくために生徒会は当然必要である」という考え方である。

前者の論は生徒の人権無視もはなはだしく、すでに死滅した戦前の形式主義にこだわっているにすぎないという批判の声が大きい。後者の意見を持つ先生は、生徒会活動の活発化を望んではいるが、自分から進んで援助してやるという積極的態度をとれずにいる。

【総評】 以上のべてきたように生徒会停滞は生徒の自治意識不足自治活動を無理解な教師、不可解なH・R運営に起因している。

論説

H・R運営の正常化が先決

―生徒会を活発化へ―

生徒会について

D オレは過去に見られたような不活発で存在価値のない生徒会であったなら、ない方がよいと思う。

C アンケート（十一月下旬、企画部が全校生徒を対照に行なった生徒会アンケートをさす）を見ても〃生徒会はなくてもよい〃という大半の理由は、生徒会がなんらかの自治活動をもなしえないことをあげている。

A でもサ、〃不活発だからいらない〃という考え方はおかしくないかな。だいいち生徒会のない学校なんて考えられない。

B （A君の意見にうなづいて）生徒会があるということだけでも一つの意義があると思う。だって無力に等しいひとりひとりの生徒が、大きな力を持った一つの組織を形成しているんだもの。なにも形式だけで止まっていてよいわけじゃないけどサ。

（生徒会存在価値についての烈しい論戦のあと、話題は生徒会不活発を作っている原因に移っていく）

C 一般生徒と執行部がかけ離れ過ぎていたことに、過去から現在にいたっている生徒会停滞の原因がある。

D 同感だな。執行部数人が忙がしそうに駆け廻っていても、生徒であるオレたちには執行部がなにをしているかわからない。

A 確かに執行部の生徒への働きかけにも不備な点があったし現在もあるけどサ、だけど働きかけうんぬんを論じる前に、生徒が自分自身の加入している生徒会に関心を示さない（企画部のアンケートによれば、生徒会に関心を持つと持たないとの比率は二対一である）ことを責めるべきだ。

B そうだナ。生徒の認識不足がなによりも問題となる。

C 一般生徒に関心がないからと言って、執行部が生徒への働きかけを怠たっていたら、執行部と一般生徒の距離がますます開き、生徒はなおさら生徒会に関心を示さない、という悪循環がくり返される。

D 生徒が関心を示さないという名の元にかくれて、執行部がなにもなさなかったなら生徒会活発化の実現は不可能になってくる。

B それから先生方の生徒会へ対する認識不足も生徒会停滞を招いている大きな原因だ。

H・R運営について

C 現在までのホーム・ルームは、学校側の連絡事項を知らせる黒板化している。

B 一時間のロング・ホームは必ずといううくらい短縮されるし……。

A 生徒委員会（ホーム・ルーム代表者会議）を開催しても集まる生徒委員は五割か六割しかいない。

B 一般生徒と執行部とのつながりをつけるのがホーム・ルームであり、生徒委員会だ。それがロング・ホームは短縮されるし、生徒委員会は流会じゃ話にならない。

C 出席しない生徒委員はどんな気持なのか。

D いままでの惰性でサ、罪悪感なんか微塵も持っていないだろうよ。

B 現在は生徒委員会で決定された事をホーム・ルームにはかっているが、これは逆だ。

A ホーム・ルームで決定されたことが生徒委員会に提出され、そこで決定されたことを執行部が計画し、生徒と共に実行する。これが正常な自治運営の姿だ。

B 生徒も執行部も一考の必要がある。

紙面紹介

一面 生徒会、論説、
二面 投書から、図書館ループルを見て、映画紹介、就職について、
三面 今年のニュースから、記者放言
四面 アンケート、旅行

スポットライト

○…ガタ、ガタ、ガタ、下駄音も高く意気揚々と体操場をのし歩く。「コラー!」先生の声。「ニゲロツ」生徒の声。十二月十一日本校体操場にて。

○…朝―「本日昼休み生徒委員会を行ないます」そして昼休み――「定員に満たないので流会にいたします」こうして生徒委員会は流会、流会……。

○…英語担当の榊田志郎先生が、由利高校から途中赴任された。彼なかなかファイトがあって、授業中非常に活気がある（おかげで生徒はヒヤヒヤ）。更に困ったことに思ったことをズケズケとしゃべる。そのしゃべることばがおもしろい。「ベケ」「わかりる」等等さながら小型ダンプカーと言うところ（悪く言えばジャリトラ）

○…服装検査の日、先生はモノサシをかかえて入室。「オマエ、スコシホソイナ」「ナモダデ」モノサシを当てる……「マア、イイカナ」次の生徒、「ダメダ、コンナニホソケレバ」生徒は頭をかいて語らない。一巡の結果、注意された者三、要注意人物五。

三角点

一九六一年も残り少なになった。十九日からの期末考査が終えるといよいよ冬期休業、大学受験生には残された最後のチャンスである。最大限に活用して狭き門を通り抜けてほしい▼ところで今年の本校はどんなであったろう。また例によって例のごとく、平々凡々と過ごしたのではないだろうか。卒直に言って全くそうであると言いたい。もっとも国体はあったものの、しかしこれとて極く少数の人が忙しかっただけである。むしろ国体によって「能高祭」が中止になった方が、よっぽど今年を平凡にした原因であろう▼ただ最近ある事件が騒がれている。言うまでもなく「女子更衣室からの盗難事」である。いくら平凡な学校生活に波をつけるものであっても、こんなものは全く困ってしまう。こんな事なら平凡な方がよほどました。今後このような事件を繰り返さないように、この犯人を探すと共に我々も大いに反省すべきだ▼我々も反省する―特に女子生徒に言えるようだ。なんと言っても盗む奴が最も悪いのであって、それは弁護の余地もないが、女子生徒が更衣室に物を置くことも間違ってはいやしないか。更衣室で弁当を食べたり、更衣室をたまり場にしているのはどう考えてもおかしい。これから後、平凡な生活にこのような変な波をつけないためにも、ことさら女子生徒に一考を促したい。

Opt pen
メガネ 万年筆
カモヤ
畠町 T464

写真は……
唐津写真館
畠町T 339 2.155

遅刻する生徒さん
ヤナセの時計をどうぞ
ヤナセ時計店
畠町下 T779

D・P・E
カメラ
大町T132
カメラ部 光雅堂
佐藤写真館

8ミリシネ
各種カメラ
DPE
三羊堂
畠町 TEL1.394

あらゆる文房具をそろえて
皆様をおまちしております
畠町T 35 1.256 塚清紙店